

二〇一五年 十一月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

あれは嫌い たぬ これは駄目 だめ あいつは困る

こいつは・・・と 切り続ける 私はどうも ハサミのようだ

平野修 ひらの ちゅう

「南か北かどちらが暖かいですか」

「南が暖かい」と答えたいところですが、本当にそうでしょうか。

日本は北半球にありますので、赤道に近づくほど気温は高くなり、「南が暖かい」ことは正しいでしょう。しかし、南半球に住む人はおそらく「北が暖かい」と答えます。赤道は北の方角にあるからです。したがって、この「正しさ」は北半球に住む人たちだけのものであって、場所によって変わるのです。

私たちは自分の正しさや都合に合わないものは「キライ」「ダメ」と切り捨て、逆に自分の正しさや都合に合うものは「こいつはいい」と取り入れます。いずれも自分を基準にして、他者や事柄を切り取るわけです。今月の言葉はそういう私を指して、ハサミのようだと言います。もちろん自分の中に正しさをもつことは大切なことです。が、要注意。それを絶対だと思ひ込み、しかも不用意に相手にぶつけると、人との関係を切ってしまう恐れがあります。いざ正しいことを言う時は、控えめに。絶対的な正しさはないのですから。

今月の聖語

他の過失は見やすく、己の過失は見がたし か し つ

『ダンマパダ』

ある時、四人の僧が一本のロウソクをまん中に置いて、決して声を出してはいけない無言の行を始めました。夜になり風が吹き戸がカタカタと揺れます。最初は四人とも黙っていました。しかしやがてすきま風でロウソクの炎が消え、「あつ火が消えた」と思わず一人の僧がしゃべってしまいました。するともう一人の僧が、「こら今はしゃべってはいけないのだぞ」と注意しました。そして別の僧が「そういうお前もしゃべっているではないか」と、やはりしゃべってしまいました。これで三人とも無言の行は失格です。そこで、ずっと黙っていた最後の一人が「結局しゃべらなかつたのは、私だけだ」と声に出してしまいました。

私たちは、他人の欠点や、過ちにはすぐに気付きます。しかし、自分の欠点や、過ちにはなかなか気付けません。「あいつがまちがっている」「自分だけはまちがってない」と思い込んでしまいがちなこの私。今月の言葉とあわせて味わってみましょう。

宗教教育係